

しらかわ介護福祉専門学校 学校評価 (評価日2018年10月1日)

評価項目	評価視点		評価尺度
	5 = 良い. 4 = やや良い. 3 = 普通. 2 = やや不十分. 1 = 不十分		
1 学校運営評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、評価結果をもとに改善計画を策定しているか。	◇運営評価を教職員に周知している。		5
	【現状】 評価は専任教員全員で実施し結果について周知している		
	◇運営評価をもとに改善計画を策定している。		1
	【現状】 開校2年目で2学年の授業が完了した後に改善計画を立てたい。		
	◇中間評価との関連で改善計画を策定している。		1
【現状】 開校2年目で2学年の授業が完了した後に改善計画を立てたい。			
課題と改善策	学校評価を全員で取り組むことで、その結果を今後の改善策に生かしたい。		
2 学習内容は、教育理念・教育目標と一貫性があり、時代の要請に応える内容になっている。	◇教員全員で教育課程を検討する場を設けている。		2
	【現状】 全課程が終了していないため、今後全員で検討したい。		
	◇理念・目的・目標と一貫性の内容となっている。		3
	【現状】 理念・目標等に向かって具体的に取り組む内容が確立していない。		
	◇社会情勢にあわせた内容を含んでいる。		4
	【現状】 外部講師を招いて多彩な科目やメニューを実施している。		
◇教育課程評価を行い結果を次年度に反映させている。		1	
【現状】 全課程の評価が終了していないので今後反映したい。			
課題と改善策	教育理念に添った人材育成のため、社会のニーズを捉えて取り組んでいきたい。		
3 授業計画が作成され、教育課程との整合性があり、学生が授業内容を理解できるようしているか。	◇内容が具体的である。		3
	【現状】 開校初年度のため、テキストに添った内容で実施している。		
	◇シラバスに示された内容に実施している。		3
	【現状】 全課程の評価が終了していないので今後反映したい。		
	◇前年度の評価結果(授業アンケート結果など参考)各担当者で授業(講義・演習・施設実習)案を検討している。		1
【現状】 全課程の評価が終了していないので今後反映したい。			
課題と改善策	教育理念に添った人材育成のため、社会のニーズを捉えて取り組んでいきたい。		
4 効果的授業運営を図るため、適切に時間割を調整している。	◇時間割作成時に授業担当教員と調整している。		5
	◇時間割は学生の状況に合わせて作成している。		5
	◇学生の順序性を考慮した時間割となっている。		5
	◇学生への時間割りを発表している。		5
課題と改善策	適切な配慮で時間割を作成しているが、次年度に向け修正が必要な科目もある。		
5 学生の単位取得に向けた支援を実施しているか。	◇教員は、初回授業で科目目標、評価目標などを学生に説明している。		5
	【現状】 本科目の目的・修得目標等を説明している。		
	◇教員は未修得の科目の分析している。		3
	【現状】 合格ラインに達しない学生へ勉強方法など聞き取りしている。		
	◇教員は学生が未修得となった理由を自己分析するよう指導している。		3
	【現状】 自己学習への積極的取り組みを促している。		
	◇教員は、学生が自己分析結果に基づき、対応策を学生と検討し、指導している。		3
【現状】 再テスト等への取り組み方法など助言している。			
◇成績不良者を対象として定期的な学習会等を実施している。		2	
【現状】 個別に随時、学習の機会を助言しており定期的には開催していない。			
課題と改善策	学生個々の得意不得意科目を精査し個別指導を取り組んでいきたい。		
6 実習目標が達成されるよう実習環境が整備されているか。	◇実習先にカンファレンスルームや学生が記録や学習をする場所が整備されている。		2
	【現状】 実習先によっては、職員と一緒にスペースで記録していた。		
	◇学生が実習中は、毎日指導するスタッフがいる。		5
	◇教員との連携調整、カンファレンスへ参加している。		5
課題と改善策	各実習先の施設環境によるが、できる限り学生控室の確保を依頼したい。		

評価項目	評価視点		評価尺度
	5 = 良い. 4 = やや良い. 3 = 普通. 2 = やや不十分. 1 = 不十分		
7 実習指導者と教員の役割を明確にし、互いに協力し実習指導にあたる体制があるか。	◇定期的に指導者会を開催している。		5
	【現状】実習開始時期前に、指導者と教員にて説明会を開催している。		
	◇実習指導者と教員との事前打ち合わせ、事後反省会を行っている。		3
	【現状】実習前に個別訪問して打合せ、反省会は未だ開催していない。		
	◇学生の日々の学習方法や指導方法について教員と指導者と適宜意見交換している。		3
	【現状】巡回時に指導者と面談しているが、指導方法は意見交換していない。		
	◇実習指導者、教員の役割を明文化したマニュアル等がある。		2
【現状】学生・指導者マニュアルはあるが、教員の役割を明文化していない。			
課題と改善策	実習前打合せと反省会の実施並びに学生・指導者・教員の役割をマニュアル化したい。		
8 学生に単位認定のための評価基準と方法を提示しており、評価に公平性・妥当性が保たれている	◇評価基準を画面で提示している。		5
	◇評価方法及び評価結果を学生に説明している。		5
	◇演習や校内実習、施設実習の評価を複数で行うように努力している。		5
	◇演習、校内実習、施設実習について公平・妥当な評価を目指して基準の見直しを毎年行っている。		2
課題と改善策	評価基準は画面で説明し、演習実技等は複数で評価。基準の見直しは今後。		
9 実習時の利用者への倫理的配慮を励行している	◇利用者への倫理的配慮について指導を行い、学生は倫理に基づいた言動を心掛けている。		5
	◇倫理的な事柄に関連した利用者からの苦情申し立てがない。		5
課題と改善策	倫理や尊厳について授業や演習で指導。苦情も出されていない。		
10 実習時のインシデント、アクシデント等を分析し、学生指導に生かしている。	◇インシデント等発生時のマニュアルを作成している。		5
	◇実習前に安全教育を行っている。		5
	◇インシデント等の情報が速やかに報告され、教員間、学生間で共有している。		5
	◇学生が関係したインシデントについて、分析し再発防止に取り組んでいる。		5
	◇教員・指導者・学生が協働して事故予防策を検討している。		5
◇実習ごとに安全カンファレンスを実施している。		5	
課題と改善策	実習中の重大なアクシデントはないが、丁寧な事故防止指導を行っている。		
11 学生による授業評価及び教員の自己評価を実施し授業の改善に努めている	◇専任教員は、全員が授業評価を実施している。		5
	◇専任教員は、全員が自己評価を実施している。		5
	◇評価結果について教員間で共有し、次年度に向けて改善計画を明文化している。		3
課題と改善策	今年2年目で初めて自己評価・学生による評価を実施している。改善計画取り組みは今後。		
12 より多くの応募者を確保することに努めている。	◇学校説明会は参加者の利便性（曜日・時間）を考慮して開催している。		5
	◇各高等学校等に出向き学校案内を行っている。		5
	◇学校関係者又は地域の方々に学校内見学を行い学校の特殊性を話し広報する。		5
	◇入学者の出身高校などに学生生活の様子を報告している。		5
課題と改善策	土日の説明会。近隣27校への巡回。新聞・広告・テレビ等活用した啓発活動をしている。		
13 国試の合格率が100%となるよう、教職員一丸となって取り組んでいる。	◇各学年に対する指導方針が明確である。		5
	◇国試の合格率が全国平均を上回っている。		
	◇国試の合格率が100%である。		
	◇学校独自の工夫をしている。		3
課題と改善策	未だ卒業生がない。全国模擬試験の実施や国試対策講座を実施している。		
14 質の高い卒業生を輩出するための努力を行っている。	◇個別面接によるきめ細かい指導を行っている。		5
	【現状】進路のみならず、職業選択や適格性など個別助言をしている。		
	◇必要に応じ学生とその保護者との三者面談を行っている。		2
【現状】学生面談は実施。保護者との3者面談は実施していない。			
課題と改善策	成人と社会人が学生のため、就職先選定は学生の自主性・主体性を尊重している。		
15 卒業生の県内、市内就職率を高めるよう努力している	◇進路指導において、施設一覧等の情報提供を行っている。		5
	◇就職者に占める県内、市内就職率が95%程度である。		
課題と改善策	求人情報の提供。ハローワークの指導講座の実施。卒業生を出していないため率は不問。		
16 卒業生への支援を行っている	◇卒業にホームカミングディを実施している。		
	◇卒業生も図書室を利用することが可能である。		5
課題と改善策	卒業生への支援は行う予定。図書室の活用は細則で可能。		

評価項目		評価視点		評価尺度
		5 = 良い. 4 = やや良い. 3 = 普通. 2 = やや不十分. 1 = 不十分		
17	就職などの進路に関して学生に十分応じているか。	◇就職に関して相談に応じるとともに、情報を提供している。	5	
		◇卒業生を学校に招き、先輩との交流会を実施する。		
	課題と改善策	求人情報の提供。ハローワークの指導講座の実施。卒業生を出していないため率は不問。		
18	教育目標達成に必要な施設設備及び教材が整っているか、学生の自主的学習の促進に努めているか。	◇教育目標の達成に必要で適切な教材が整っており、活用されている。	5	
		◇パソコンは授業時一人1台使用できるよう整備している。	5	
	課題と改善策	全ての教材とパソコンは40台が学生専用ネットワークランで使用可能。		
19	学生のための福利厚生設備は整っているか。	◇学生が自由に使用できるホールがある。	5	
		◇クラブ・集団活動ができる場所がある。	2	
	課題と改善策	設備は自由に活用できるが、クラブ活動は実施していない。		
20	図書室は利用しやすく学生に十分に活かされているか。	◇図書室の利用に為の情報提供などを掲示している。	5	
		◇蔵書・雑誌等は、定期的に整理又は破棄している。	5	
	課題と改善策	図書室の1000冊超の専門書と介護関連雑誌、新聞など購読している。		
21	実習室は学生数に応じたスペースが確保され、必要な備品等が整い、十分にその機能を果たしているか。	◇学生数に応じたスペースが確保されている。	5	
		◇「社会福祉士介護福祉士」養成施設指針に定められている設備・備品が整備されている。	5	
	課題と改善策	定められた設備は整っているが、定期点検簿は未作成である。		
22	学校内で講演等を設け多種多様の方が参加できるように努めている。	◇課題に沿った講演等を企画している。(内容・講師・日程・時間数など)。	5	
		◇教職員ほぼ100%参加。	2	
	課題と改善策	介護福祉士会の研修や行政の講演会を建物内で実施。教員参加は時間都合で参加。		
23	教員が計画的に研究調査活動を行えるよう体制を整えている。	◇教員が研究調査活動を実施している。	1	
		◇教員が研究調査活動に参加している。	5	
	課題と改善策	学会や研修会には積極的に参加。自身の研究活動は未実施。		
24	学校の存在を周知するため、ホームページ、携帯サイトをはじめとした積極的な広報活動をしている。	◇前年度の評価を生かした広報計画を年度末に策定している。	5	
		◇ホームページ・パンフレット等は受験生が求める情報を掲載している。	5	
	課題と改善策	新たなパンフレット・ホームページへの情報提供更新。市町村に協力いただいた広報活動。		
25	地域社会の一員として、地域への広報・貢献・奉仕活動・連携の工夫を行っている。	◇地域住民を対象にした公開講座を年に何回か実施している。	4	
		【現状】介護事業所から依頼のあったテーマで出前講座を教職員が実施。		
	課題と改善策	授業に支障のない範囲で、行政が実施するイベントにも学校として参加協力していきたい		
次年度に向けた課題				
<p>高齢化社会と少子化問題から、介護の問題はますます深刻化しています。しかしながら、介護福祉士を目指す入学者が少ないのは日本全体の課題となっています。外国人の介護人材の受入れや処遇改善交付金の施行等、社会情勢も目まぐるしく変化していきようとしています。</p> <p>本校では、30年度に、外国人と委託訓練生を入学者に迎えており、授業展開や実習指導などより一層創意工夫した取り組みが求められます。</p> <p>今後は、グローバルな視点に立って、様々な角度から介護や福祉のあるべき姿を模索して、より実践的な担い手となる人材を育てられる教育に取り組んで参ります。</p>				